

Slovenia Monthly May 2021

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2021年6月3日



～5月の主なポイント～

- 内 政： ヤンシャ首相に対する弾劾動議、否決
コズロビッチ法務大臣の辞任
- 外 政： ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合の開催
楊潔チ・中国共産党中央政治局委員のスロベニア訪問
- 経 済： スロベニア商工会議所、新会頭を選出
- コロナ： 政府、新型コロナウイルス感染症の流行宣言を延長

政治

【内政】

●元環境相が新党設立【8日】

元環境・空間計画大臣のレーベン氏が新党「環境行動党(Party of Green Action)」を設立した。同党は、環境保護を重視しつつも、持続可能な経済発展と環境保護の両立を唱えており、報道によると、レーベン氏は、炭素中立達成のために原子力発電にも寛容な見解を述べている。

レーベン氏はシャレツ前政権で環境・空間計画大臣を務めていたが、コペル～ディヴァチャ間第2鉄道路線建設計画の広報用設計模型入札に関して不正が行われた疑惑が生じ、同人は身の潔白を主張しつつも、大臣としての業務に影響が出ることを避けるため2019年3月に大臣職を辞任し、その後に所属していた現代中央党(SMC)からも離党していた。

●ヤンシャ首相に対する弾劾動議、否決【26日】

26日深夜、ヤンシャ首相に対する弾劾動議の投票が行われ、賛成42票、反対44票で否決された。可決のためには定員過半数の賛成46票が必要だった。弾劾動議は、本年4月にマリヤンシャレツリスト(LMS)、社会民主党(SD)、左派(Left)、アレンカ・ブラトウシェク同盟(SAB)の中道左派野党4党によって

提出されたもので、これら政党は、動議提出の理由として、保健、メディア、検察、人権等の点においてヤンシャ首相が憲法の条項に違反しているとしていた。

●コズロビッチ法務大臣が辞任【27日】

27日、コズロビッチ法務大臣は大臣職からの辞表を提出した。辞任の理由は、スロベニア政府が欧州代表検察官2名の候補者選出手続を無効にし、再び手続をやり直すことを決定したため。コズロビッチ大臣は「すでに何度も述べているように、司法省は法律及び欧州理事会の政令に従い手続を行った」と述べ、今回の手続やり直しの決定には正当な理由や根拠がないとした。

本件については、スロベニアは本年6月1日に業務を開始する欧州検察庁(EPPO)の参加国として、本部ルクセンブルクに派遣される欧州検察官1名及びスロベニア事務所で勤務する欧州代表検察官2名以上を任命する必要がある。本部勤務となるスロベニアの欧州検察官については、昨年7月にヤカ・ブレジガル氏が任命されている。一方、欧州代表検察官2名の任命手続を巡っては、検察評議会が公募を実施し、その後に検事総長等の承認を経て候補者リストを法務省に提出し、法務省が閣議で通知することで国内手続は終了するが、これまで法務省は検察評議会の

候補者リストを閣議で通知をすることを試みていたが、一向に閣議の議題に本件が載らない事態が生じ、EU側は、レンデルス欧州委員（司法担当）及びコベシEPPO長官をはじめ、たびたびスロベニアに対して欧州代表検察官任命手続を迅速化するよう要請していた。報道によると、手続の遅れの理由として、検察評議会から推薦された2名の候補者は、ヤンシャ首相の意向にそぐわない候補者であったため、同首相が同手続を止めていたと報じているおり、5月27日、政府は候補者選出手続に不備があったとして、選出手続やり直しの決定を下していた。



(Photo: Nebojša Tejić/ STA)

●ゾルチッチ国民議会議長解任動議、否決【28日】

28日、連立与党3党（民主党（SDS）、新スロベニア（NSi）、現代中央党（SMC））が5月6日に提出していたゾルチッチ国民議会議長解任動議に対する投票が行われ、結果は賛成45票、反対0票であったが、動議可決に必要な定員過半数の賛成票（46票）に1票足りず、動議は否決となった。なお、中道左派野党4党（マリヤンシャレットリスト（LMS）、社会民主党（SD）、アレンカ・プラトゥシェク同盟（SAB）、左派（Left））及びゾルチッチ議長が設立した独立会派は投票に参加しなかった。連立与党によるゾルチッチ議長解任の試みは、本年3月に続き、これで2度目の否決となったが、与党SDSのクリヴェツ院内総務は、動議否決後、ゾルチッチ議長解任のために3度目の試みが必要となってくるだろうと述べた。

●大規模反政府抗議集会【28日】

28日、早期の解散・総選挙を求める大規模抗議集会がリュブリャナ中心部において行われた。参加者は数千人の規模であったとのこと。複数の労働組合、NGO、研究者や文化人等が集会に参加し、一部の野党も集会への支持を表明した。ヤンシャ首相は、自身のツイッターにおいて、新型コロナウイルスを広めるような未登録の集会は犯罪であり、集会の自由は憲法において認められているものの、法律によって規制されうると発信した。

【外政】

●ベラルーシ野党指導者、スロベニア要人と会談

【3日～4日】

3日、ロガル外相は、スロベニアを訪問したベラルーシの野党指導者であるチハノフスカヤ氏と面談した。ロガル外相は、ベラルーシにおける民主化を求める動きに支持を表明したほか、スロベニアは本年後半のEU議長国として、民主化及びベラルーシ情勢を重要なアジェンダとして設定すると述べ、スロベニアの議長国期間中にEU・東方パートナーシップ首脳会合が開催予定であり、ベラルーシは同会合の主要な議題のひとつとなるだろうと述べた。チハノフスカヤ氏は、スロベニアがベラルーシにおける「無法状態」に対して強い態度をとっていることに感謝の意を示し、国際レベルでベラルーシ情勢が優先議題となっていることが極めて重要であると述べた。なお、翌4日、チハノフスカヤ氏はパホル大統領、ゾルチッチ国民議会議長を表敬したほか、駐スロベニア欧州議会事務所を訪れ、スロベニア選出の欧州議会議員とベラルーシ情勢等に関する意見交換を行った。

●トルコ外相のスロベニア訪問【4日】

4日、ロガル外相は、スロベニアを訪問したトルコのチャヴシュオール外相と会談した。両外相は、二国間関係及びEU・トルコ関係の今後の進展に加え、スロベニアのEU議長国としての優先事項等について協議した。また、西バルカン、東地中海、中東といった地域についても意見交換を行った。ロガル外相は、EUとトルコとの間の建設的な対話の継続に対するスロベニアの支持を表明し、本年に入ってから東地中海の情勢は好転しており、スロベニアはこれを歓迎しつつ、前向きかつ静かな状態が続くことを望むと述べた。ロガル外相は、EUとトルコは、経済、安全保障、移民の文脈で重要なパートナーであり続けるとし、今後条件が合った場合のEUの拡大についてコミュニケーションを取り続けていくことの重要性を強調した。本年、スロベニアとトルコは戦略的パートナーシップ締結から10周年であり、両外相は二国間の貿易、投資機会及び貿易収支の調整についても協議した。

●中欧5か国外相会合【13日】

ロガル外相は、スロバキアのブラチスラバで開催された中欧5か国（スロベニア、オーストリア、チェコ、ハンガリー、スロバキア）の外相会合に参加した。各外相は、サマーシーズンにおける新型コロナウイルスに関連する国境制限措置の緩和の可能性につき議論し、各国間で制限措置に関する調整や情報共有を行い、ヒトの移動やビジネス活動が過度に制限されないようにすること、及びEU内でグリーン証明書が完全に履行されるまでは、二国間や地域内の合意によりワクチン証明書の相互承認を行っていくことの必要性

について一致した。また、ロガル外相は、同会合においてスロベニアのEU議長国期間中の優先事項に関する説明を行い、EUの経済復興やデジタル化促進等に関する意気込みを述べた。その他、各国外相は西バルカン情勢やEU・ロシア関係についても意見交換を行った。また、会合第二部ではクレーバ・ウクライナ外相も参加し、同外相よりウクライナ東部情勢及び和平プロセス等に関する説明が行われ、各国外相は最近のロシア・ウクライナ間での緊張緩和の努力を歓迎した。



(Photo: Ministry of Foreign Affairs, Slovenia)

●スロベニア政府庁舎、イスラエル国旗を掲揚【14日】

14日、スロベニア政府は、中東におけるイスラエル・パレスチナ間の緊張の高まりに関し、イスラエル国旗を政府庁舎の建物に掲揚した。政府は公式ツイッター上で「イスラエルとの連帯を示すものとして、イスラエル国旗が政府庁舎に掲げられた。我々はテロ攻撃を非難し、イスラエルの側に立つ」とのコメントを投稿した。この動きに関し、ヤンシャ首相は自身のツイッターで政府のツイートをリツイートするなど、イスラエル国旗掲揚を支持したが、パホル大統領は「国際問題に関する自国の立場を他国の国旗を掲揚する形で表現することは好まない」とツイッター上で発言し、政府の決定に賛同していないことを示した。また、ゾルッチ国民議会議長も、国旗の掲揚による応援は支持しかねると述べ、武力紛争においてスロベニアは中立を追求し、和平の達成及び交渉のためのイニシアティブを支持すべきであると述べた。また、オーストリアに駐在し、スロベニアを兼轄するパレスチナ大使は、スロベニア政府の行動は一方に偏ったものであり、人種差別主義的政策と言えるとして、スロベニア政府によるイスラエル国旗掲揚を強く批判した。

●ヤンシャ首相、メルケル・ドイツ首相とビデオ会談【17日】

17日、ヤンシャ首相はメルケル独首相とビデオ会談を行い、両国で感染者数が減少している新型コロ

ナウイルスの現状、ワクチン接種状況、今後の課題等につき意見交換を行った。また、両者は、EU加盟国が早急に(スロベニア及び独がすでに承認済みの)独自の財源決定(Own Resource Decision)を承認すること及び復興強靱化計画が議論され承認されることの必要性につき一致した。その他、ヤンシャ首相は、スロベニアのEU議長国期間中の優先事項につきメルケル首相に説明したほか、両者は「欧州の将来に関する会議」、気候変動等についても議論を行った。

●ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合の開催【17日】

17日、ブルドー・ブリ・クラニユにおいて、ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合が開催された。同会合には、ミラノビッチ・クロアチア大統領、メタ・アルバニア大統領、ドディック・ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)大統領評議会議長、ジャフェロビッチBH大統領評議会メンバー、コムシッチBH大統領評議会メンバー、ジュカノビッチ・モンテネグロ大統領、オスマニ・コソボ大統領、ペンダロフスキ・マケドニア大統領、プッチ・セルビア大統領が参加した。また、会合では、ブルドー・ブリュニ・プロセスへのコミットメントの再確認、新型コロナウイルス、経済復興及びEU投資計画、西バルカンに対するEU拡大への支持等を盛り込んだブルドー宣言が発出された。

パホル大統領は、3時間にわたる会合において多くの隔たりや相違が聞かれたが、和解もあったとして、最終的には(西バルカン)地域の国民とEU首脳にとって非常に重要なメッセージを出すことができたと述べ、ブルドー宣言は、本年10月に予定されるEU・西バルカン首脳会合へのインスピレーションとしての役割を果たす可能性があるとして述べた。



(Photo: Daniel Novakovič/ STA)

●ロガル外相がドイツを訪問【19日～20日】

19日、ドイツを訪問したロガル外相は、マース独外相と会談を行った。両者は良好な二国間関係を確認するとともに、ドイツ、ポルトガル、スロベニアによるEUトリオ議長国における建設的協力を強調した。また、両者はEU拡大についても意見交換を行い、ロガル外相は、戦略的・地政学的観点から西バルカン地域

により関心を払うべきである旨強調し、スロベニアのEU議長国期間中に開催が予定されているEU・西バルカン首脳会合の概要を説明した。そのほか、両者は新型コロナウイルスによる影響からの経済復興、危機に対するEUのレジリエンス強化等についても意見交換を行った。

ロガル外相は、19日～20日のドイツ滞在中、マース外相に加え、ショイブレ独連邦議会議長、レットゲン独連邦議会外交委員長、クリーヒバウム独連邦議会EU関係委員長とも会談を行った。

●スロベニア、中東における停戦を歓迎【21日】

21日、スロベニア外務省は公式ツイッターにおいてイスラエル・パレスチナ間の停戦を歓迎した。外務省は、「イスラエルとガザの停戦は、前向きな流れである。我々は恒久的な政治的解決と持続可能な和平に向けた一層の努力を促す」とのコメントを投稿した。

●ロガル外相、セルビア外相と会談【25日】

ロガル外相は、スロベニアを訪問したセラコビッチ・セルビア外相と会談を行った。会談では、主に二国間関係の強化、セルビアのEU加盟に向けてのスロベニアの支援及びスロベニアのEU議長国就任を控えての西バルカン情勢についての意見交換が行われた。両外相は、二国間関係が活発であるとし、二国間の経済協力が非常に良好であると評価した。セルビアはスロベニアにとって重要な経済パートナーであり、最大の投資国かつ、スロベニアにとっても第二の投資先であるが、両外相は、観光や貿易において更なる発展の余地があるとした。また、両外相は、新型コロナウイルスのデジタル証明書の相互承認について合意したほか、（旧ユーゴの）承継についても協議し、ロガル外相は、承継条約を結んで20年が経過しており、ヨーロッパの精神においてこの章の幕引きを行う時が来たと考えていると述べた。

●楊潔チ・中国共産党中央政治局委員のスロベニア訪問【26日】

26日、パホル大統領は、スロベニアを訪問した楊潔チ・中国共産党中央政治局委員と会談した。パホル大統領は、同委員が2008年に外交部長としてスロベニアを訪問して以来の再訪を歓迎した。楊潔チ・中国共産党中央政治局委員は、ロシアでのプーチン大統領との会談に引き続いて、次期EU議長国となるスロベニアを訪問したもので、パホル大統領の歓迎に感謝するとともに、習近平中国国家主席からの挨拶を伝達した。両者は最近の国際的な話題についての意見を交換し、特に経済面での二国間関係強化を訴えた。パホル大統領は、25年前に自らスロベニアから中国への初の議員団を率いて訪問したことに言及した。また、2022年は両国の外交関係樹立30周年に当たるとして、

習近平国家主席のスロベニア訪問を招請した。パホル大統領は、現在及び将来の世代の利益のために、多国間主義と世界の平和と発展に対する責任の重要性を強調した。また、両国が類似の考え方を有していることを歓迎し、EU・中国関係の強化と、異なる見方の溝を埋めるための定期協議の必要性を訴えた。

同日、楊潔チ・中共中央政治局委員は、トニン副首相兼国防相とも会談を行った。両者は、伝統的に良好な両国関係を指摘したほか、二国間協力、「17+1」における協力、EU・中国関係、スロベニアのEU議長国期間中の優先事項等について意見交換を行った。二国間協力では、貿易、ビジネス環境、観光、ウインタースポーツ、投資及び中国における航空センター建設に係るスロベニア・中国間のプロジェクト等を中心とした経済分野での協力が焦点があてられた。その後、両者は新型コロナウイルス対策、サイバーセキュリティ、デジタル化、AI、EU・中国関係全般、台湾、香港を含むスロベニアのEU議長国就任に向けた準備に係る包括的な意見交換を行った。トニン国防相は、特に人権尊重に関して中国の同地域（香港）における事態に対する懸念を表明した。また、同国防相は、スロベニアのEU議長国期間中の優先事項のひとつである西バルカン地域の安定の重要性についても強調した。その他、会談では、アフガニスタン情勢、イスラエル・パレスチナ間の紛争、欧州・米国関係、気候変動、「一帯一路」等についても言及がなされた。



(Photo: Daniel Novakovič/ STA)

●ロガル外相、ロシアを訪問【28日】

28日、ロガル外相はロシアを訪問し、同国のラブロフ外相と会談を行った。会談において、ロガル外相は、スロベニアは次期EU議長国として、ロシアとの緊張緩和及び有意義な共存に努める旨強調する一方、ロガル外相は、ウクライナに係るEUの周知の共通ポジションを強調するとともに、ロシア・ウクライナ間国境において軍事活動が増加していることにつき懸念を表明した。また、ベラルーシ人ジャーナリスト・活動家のロマン・プロセタヴィチ氏の拘束を目的とした最近のライアンエアー航空機の強制着陸事案に関し、

ロガル外相は、スロベニア国民はベラルーシにおける人権侵害・抑圧及び同事案を容認することはできない旨強調した。そのほか、両者は西バルカン情勢、二国間協力、文化協力等につき意見交換を行い、同外相は、ロモノーソフ記念モスクワ国立大学におけるスロベニア語及びスロベニア文学の授業が次の世代も同様に維持されることを期待する旨述べた。

滞在中、ロガル外相は、戦勝記念公園においてスロベニア人犠牲者追悼の記念碑に献花を行ったほか、エデラー駐露EU代表部大使及びロシアのNGO関係者と懇談した。また、同外相は、ロモノーソフ記念モスクワ国立大学のサドーヴニチ学長との会談において、同大学におけるスロベニア語及びスロベニア文学の授業が継続されることへの関心を伝達した。訪問の最後に、ロガル外相はロシアで活動するスロベニア企業関係者と懇談した。



(Photo: Ministry of Foreign Affairs, Slovenia)

●ヤンシャ首相、モンテネグロ首相と会談【28日】

5月28日、ヤンシャ首相は、スロベニア訪問中のクリボカピッチ・モンテネグロ首相と会談した。両首相は、新型コロナウイルスの状況、二国間関係及びEU拡大プロセス等について協議した。両首相は、二国間関係は友好的であり伝統的に良好であるとし、経済協力について、合同経済委員会の設立を含め、更なる強化の意図を表明した。クリボカピッチ首相は、EU加盟交渉の状況と見通しについて説明した。ヤンシャ首相はスロベニアのEU議長国期間の西バルカン及びEU拡大プロセスについての計画を説明し、スロベニアはモンテネグロの改革プロセスを支持するとした。また、10月にスロベニアにおいて西バルカンサミットを開催すると述べた。

経済

【経済一般、指標・統計】

●女性用衛生用品の減税措置が発効【3日】

女性の衛生用品に対する減税措置が5月3日から発効した。これにより、女性の衛生用品に課されていた税率がこれまでの22%から9.5%に減税となる。税率変更のイニシアティブをとった野党社会民主党(SD)のムルシッチ議員は、一般的な衛生用品の中には税率が9.5%のものがあるにもかかわらず、女性の衛生用品が22%のままであることを問題視し、法改正案を提案したとのこと。

●家計預金額が増加【4日】

スロベニア中央銀行の発表によると、2020年の家計の預金額は、前年より20億ユーロ以上増加し、230億と非常に高い数字となった。この背景には、新型コロナウイルスに関する各種政策により収入が一時的に増加した家庭が多かったものの、感染対策のための制限措置により、店舗等が閉鎖していたことから、消費が減少し、その分が貯蓄に回ったことが主な原因と考えられている。

●欧州委員会及びOECD、2021年のスロベニアの経済成長率を上方修正【12日、31日】

欧州委員会は、本年のスロベニアの経済成長予測を0.2%上方修正し、4.9%のプラス成長とした。一方、2022年の経済成長率については、これまでの予測から0.1%下方修正し、5.1%とした。

OECDは、本年のスロベニアの経済成長予測を0.1%上方修正し、3.5%のプラス成長とした。また、2022年については1.1%上方修正し、4.6%のプラス成長とした。

各機関によるスロベニアの最新経済見通しは以下のとおり。

	2021	2022	2023
OECD	3.5%	4.6%	—
IMF	3.9%	4.5%	3.6%
欧州委員会	4.9%	5.1%	—
IMAD	4.6%	4.4%	3.3%
スロベニア中銀	3.1%	4.5%	—
EBRD	3.5%	—	—

【企業、産業の動向】

●コペル～ディヴァチャ間第二鉄道路線建設計画の鉄入れ式【5日】

5日、国内最大規模のインフラプロジェクトであるコペル～ディヴァチャ間第二鉄道路線建設計画の鉄入れ式及び同計画のディヴァチャ～チュルニ・カル区間工事の契約書署名式が行われた。同式典には、ヴルトヴェツ・インフラ大臣、工事を受注したKolektor社及び同社とコンソーシアムを結成するトルコ企業の幹部等が出席した。ヴルトヴェツ・インフラ大臣は、「賽は投げられた。本日より第二鉄道路線の建設が開始される。我々はこの瞬間を何年も待ち望んでいた」と述べ、工事開始を歓迎した。第二鉄道路線は、2025年の完工、26年の開通が予定されている。



(Photo: Jure Makovec/ STA)

●国内最大規模の太陽光発電所、近々建設開始【5日】

国営電力会社「Holding Slovenske Elektrane (HSE)」は、国内中部フラストニク近郊に国内最大の太陽光発電所を建設することを発表した。同発電所の出力は3.04MWで、一般家庭約800世帯分の電力需要を賄うことができる見通し。同発電所についてはすでに建設許可取得済みで、7月3日に礎石の設置が行われる予定。

●スロベニア商工会議所、新会頭を選出【5日】

スロベニア商工会議所は、同商工会議所の新会頭に鉄鋼業「SIJ」社のティボル・シモンカ上級副会長を選出した。現職のゴリユプ会頭の任期は5月27日に満了するため、その後、シモンカ氏新会頭が就任する。シモンカ氏は、商工会議所会頭としての優先事項として、グリーンランジション、デジタル化支援、イノベーション、R&D、商工会議所会員に対する資金確保支援、国際化、従業員のキャリアアップ等を挙げた。

新型コロナウイルス関連情報

●5月31日時点におけるスロベニア国内の新型コロナウイルスの感染状況【31日】

5月31日時点において、スロベニア国内で新型コロナウイルスへの感染が確認されている人数は累計254,045名で、死者は計4,694名となっている。31日時点での地域別の累計感染者は以下となっている。

地域	感染者数
スロベニア中心部	62,348
ドレンスカ・ベラクライナ地方	19,531
サヴィンスカ地方	33,922
ポドラウスカ地方	37,962
ゴレンスカ地方	26,537
ポムルスカ地方	15,818
オバルノ・クラシュカ地方	11,279
ゴリシュカ地方	12,467
コロシュカ地方	9,609
プリモルスコ・ノトランスカ地方	6,142
ポサウスカ地方	9,836
ザサウスカ地方	6,908
その他調査中	1,686

●50歳以下へのワクチン接種開始【10日】

国立公衆衛生研究所によると、すでにスロベニアの人口の約4分の1となる約50万人が1回目のワクチンを接種し、その内半数はワクチン接種が終了しているとのこと。ワクチン接種が順調に進んでいることを受けて、50歳以下へのワクチン接種も開始された。政府は、集団免疫獲得に向けて人口の6割のワクチン接種を完了することを目指しており、関係者によると、順調にワクチン接種が進み、また、すでに新型コロナウイルスから回復した者も含めると、2か月以内に集団免疫を獲得できる可能性があるとのこと。

●ワクチン接種に関する世論調査【11日】

調査会社「Valicon」が4月16日～23日の期間に1,042名を対象に行った調査によると、ワクチン接種の機会があれば接種すると回答したのは37%で、回答者の47%はワクチン接種に消極的であることが明らかになった。また、接種に消極的との回答をした者のうちの8割以上が、ワクチンの副作用に何らかの不安を抱いているとの回答であった。

●インド型変異株、スロベニアで初確認【12日】

12日、リュブリャナ大学医学部微生物学・免疫学研究所は、4月20日に検査を行い陽性反応が出た者のサンプルから、インド型変異株が発見されたことを

確認した。インド型変異株の確認はこれがスロベニア国内で初となった。同患者は、インドに渡航し、帰国した後に陽性が確認されたとのこと。なお、5月20日には、インド型変異株の2例目が確認された。

●政府、新型コロナウイルス感染症の流行宣言を延長【17日】

政府は、新型コロナウイルス感染症の流行宣言を5月17日から再度30日間延長した。同宣言は昨年10月19日に発出され、それ以降、同宣言延長の決定がなされてきている。

治安・軍事

●エストニア、リトアニア、ポーランドの警察当局、スロベニアの国境管理を支援【10日】

10日、エストニア、リトアニア、ポーランドの3か国から派遣された警官隊が、スロベニアの国境管理支援を開始した。エストニアからの5名、リトアニアからの6名、ポーランドからの10名で成る合計21名の応援隊は、1か月から6週間の期間、クロアチアとの間の国境管理支援にあたる。今回の派遣は、対テロ及び国境をまたいだ犯罪対策のための協力に関するEUの決定を基に、スロベニアがこれら3か国と協力合意を結び実現したもの。オライ警察長官は、不法移民の越境はスロベニアの大きな負担となっており、応援隊を歓迎する旨述べた。



(Photo: Nebojša Tejić/ STA)

社会・文化・スポーツ

●2020年の二酸化炭素排出削減率、スロベニアはEU平均を下回る【7日】

欧州統計局の発表した暫定値によると、2020年のスロベニアの二酸化炭素排出削減率は6%で、EU平均の10%を下回っていることが明らかになった。最も削減率が高かったのはギリシャで18.7%、次いでエストニア(18.1%)、ルクセンブルク(17.9%)、スペイン(16.2%)、デンマーク(14.8%)が続いている。なお、2020年は新型コロナウイルスの影響で経済活動が大幅に制限されたことが二酸化炭素排出量削減の面では功を奏し、EU全体で10%の削減が達成された。

●ミシュラン星シェフがEU議長国期間中の調理担当に就任【11日】

ミシュランで1つ星を獲得したレストラン「プリ・ロイゼトウ(Pri Lojzetu)」のシェフであるトマジュー・カウッチ氏が、スロベニアのEU議長国期間中に行われる首脳レベルの行事において調理責任者を務めることが発表された。カウッチ氏は「EU議長国期間中に料理長を務めることは素晴らしいチャレンジであり、大きな喜びと敬意をもって引き受けた」と意気込みを述べた。

●野菜摂取量の増加【16日】

スロベニア統計局の発表によると、2019年のスロベニアの野菜消費量は24万6千トンで、一人あたり約118キロの野菜を年間で消費していることが明らかになった。1人あたりの野菜消費量は、2000年の数値と比較するとこの20年間で5割増加している。2019年のスロベニアの野菜自給率は43%で、最も高かったのが2000年の47%、最も低かった年が2010年で30%であった。また、果物については、2019年の消費量は26万7千トンで、一人あたり年間約128キロの果物を消費している。果物自給率は年によって大きな差があり、最も低かったのは果物が不作だった2017年で自給率は15%、最も高かったのは2000年で66%であった。なお、2019年のスロベニアの果物自給率は30%であった。

ガブロヴェツ・オリンピック委員会会長への勲章伝達式

5月19日、スロベニア・オリンピックエディケーションセンター（BTCクリスタルパレス内）の開所式に合わせて、ガブロヴェツ・オリンピック委員会会長への勲章伝達式が開催されました。ガブロヴェツ・オリンピック委員会会長は、令和2年秋の外国人叙勲において、スロベニアにおける柔道の普及及び日本・スロベニア間のスポーツ交流に寄与した功績が認められ、旭日小綬章を受章しています。



（開所式：テープカットの様子）

当日は、スロベニア柔道金メダリストのウルシュカ・ジョルニル選手が5月3日から国内を巡っているスロベニア・オリンピック・トーチを会場に運び、エディケーションセンターが開所しました。会場には、松島大使及びガブロヴェツ会長のほか、1964年東京オリンピックの金メダリストのミロスラウ・ツェラル氏、BTCのダミヤン・クラリCEOなどが列席しました。



（松島大使より勲章を手交）



（松島大使より勲記を手交）

開所式に続いて行われた勲章伝達式におけるスピーチにおいて、ガブロヴェツ会長は「スポーツとしての柔道が私に与えてくれたすべてのものに心から感謝しています。スロベニア柔道協会の会長を務めた20年間、浮き沈み、成功と苦闘の中で、これらの思い出は、自身のキャリアの中で最も美しいものとなりました。スポーツは私たちにインスピレーションを与え、結びつけてくれます。柔道だけでなく、スポーツ全般の振興に一丸となって貢献しているアスリートの皆さんの働きを大変誇りに思います。今日のこの瞬間の私の心の温かさを一生忘れません」と目に涙をためて、授章に対する感謝の辞を述べました。



（テレビのインタビューを受けるガブロヴェツ会長）

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせ等の情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

★スロベニア人向けニュースレター「Living in Japan」のご紹介

当館では、毎月スロベニア人向けに日本紹介のニュースレター「Living in Japan (Življenje na Japonskem)」をスロベニア語で発信しています。今年は各都道府県に焦点を当てて、各地の歴史・産業・観光・物産品等を紹介してまいります。このニュースレターは当館のホームページでも公開しておりますので、どうぞご覧下さい。

http://www.si.emb-japan.go.jp/Living_in_Japan.html

【領事班からのお知らせ】

●スロベニアに90日以上滞在される方は、在留届を提出してください。

(※インターネットでの提出が便利です。→ <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)

●新型コロナウイルス:引き続き最新情報を入手し、感染予防に努めてください。当館HPでは、新型コロナウイルスに関する国内及び出入国規制等についてまとめたものを公開していますが、そちらもご覧ください。なお、規制は突然変更となる場合がありますので、最新情報についてはスロベニア当局にご確認いただくようお願いいたします。

【当館まとめページリンク】

https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00037.html

【参考情報】

1. 外務省海外安全ホームページ

本サイトでは、各国・地域での新型コロナウイルスの発生状況、新型コロナウイルス(日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限)等の情報を掲載しています。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

2. たびレジ簡易登録

本サービスは、メールアドレスとメール配信を希望する国・地域を選択するだけで、当該在外公館から領事メールを受信することができます。ぜひご活用下さい。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>

3. スロベニア国立公衆衛生局は、国内状況や感染予防の方法等について公開しています。

<https://www.nijz.si>

(主にスロベニア語)

4. スロベニア政府が、新型コロナウイルスに関する特設サイトを開設しました。コロナウイルスに関連した保健省の特設電話番号はこちらに掲載されています。

<https://www.gov.si/en/topics/coronavirus-disease-covid-19/>

5. 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～(首相官邸)

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

6. 新型コロナウイルス感染症に関する情報について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

7. リュブリャナ空港ホームページ

<https://www.fraport-slovenija.si/en/Main>

8. スロベニア政府の下記のツイッターアカウント等で、随時情報発信が行われておりますので、こちらをご確認ください。

●政府(英語): <https://twitter.com/govslovenia>

●政府(スロベニア語): <https://twitter.com/vladars>

(英語版と若干内容が異なります。)

●外務省: <https://twitter.com/mzzrs>

(主にスロベニア語)

●保健省: <https://twitter.com/minzdravje>

(主にスロベニア語)

【広報文化班からのお知らせ】

●令和3年度国際交流基金海外巡回展「妖怪大行進:日本の異形のものたち」開催中！

スロベニア民族博物館にて、国際交流基金の海外巡回展「妖怪大行進:日本の異形のものたち」を開催中です。

開催期間:6月13日(日)まで

会場:スロベニア民族博物館、Meterkova 3, 1000 Ljubljana

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック！

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia/>